

水稲の生育状況と今後の管理対策（第2号）

令和3年6月11日
新潟県農林水産部

〔6月10日現在の県内全域の生育状況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の生育状況ですが、地域差、ほ場差が大きくなっています。
- ◎ コシヒカリの茎数は、県の生育調査ほ（田植え日の平均は5月12日）の平均値で200本/m²（目標穂数350本/m²の57%）となっており、あと数日で中干し*1開始の適期に入ると見込まれます。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「淡い」状況です。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かし、稲の生育量を適正に保つ作業のこと

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 6月10日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量と日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されています（平年の梅雨入りは6月11日ごろ）。
- ◎ 今後、中干しの開始が遅れた場合、特にコシヒカリでは茎数がさらに増加し、前年と同様、著しい倒伏の発生や、根の発達不良による収穫時の株抜けなど、玄米品質と作業性の大きな低下が懸念されます。

〔今後の管理対策のポイント〕

コシヒカリ

- ◎ 今後、茎数の増加が加速し、5月中旬以降田植えのほ場においても、中干し開始の適期に入ると考えられることから、ほ場でただちに生育を確認し、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ 高地力など、生育が過剰となりやすいほ場では強めの中干しを行い、茎数の増加を早期に抑えてください。
- ◎ 中干しの効果を高め、フェーン等の異常高温時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施してください。

新之助

- ◎ 茎数が増えやすく、化成の全量基肥肥料*2を施用したほ場では、より増えやすいことから、茎数をこまめに確認し、中干しを遅れずに開始してください。
- ◎ いもち病に弱いことから、箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行ってください。補植苗は、葉いもちの伝染源になるので、ただちに除去してください。

*2 全量基肥施肥：全生育期間に必要な肥料成分を、田植え前又は田植え時に一括して施す施肥法

熱中症予防

- ◎ 平年並の気温でも、湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- ◎ 溝切りなど、屋外での農作業では、あらかじめ飲料水や日陰を十分に確保しておくなどの熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意するとともに、適宜休憩を取るなど、農作業安全の対策にも配慮してください。

◎ 今後の管理対策発信予定日

6月22日、7月1日・9日・21日・27日・30日、8月20日、9月10日

〔補足資料〕

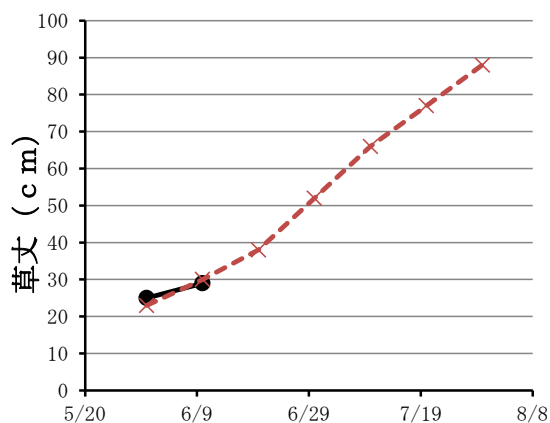
1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月10日現在）

コシヒカリ

○ 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の状況です。

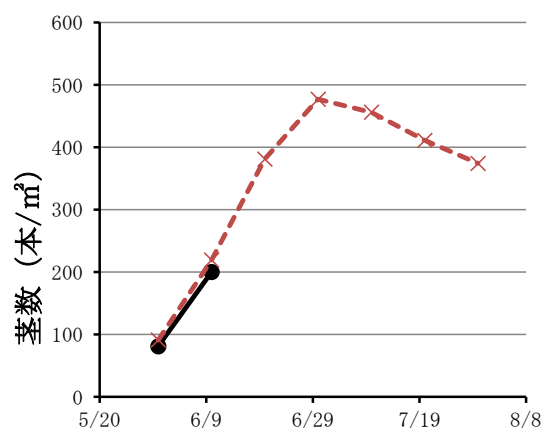
項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	29 cm	30 cm	並	97%
茎数	200 本/m ²	219 本/m ²	やや少ない	91%
葉数	6.9 葉	6.9 葉	並	0.0 葉
葉色 (SPAD 値)	36.5	36.8	並	-0.3

注) 県内全域の115生育調査ほデータの平均値(田植え5月10日、栽植密度16.9株/m²)



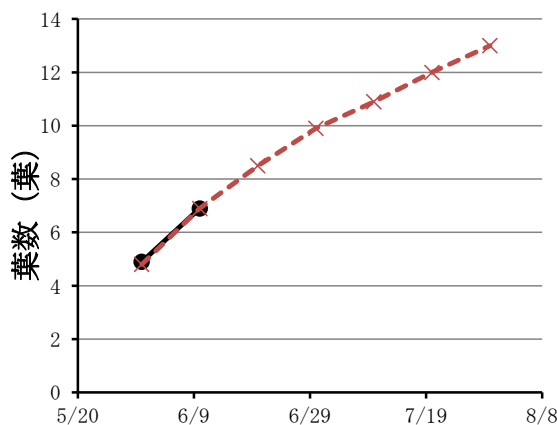
● 本年値 -x- 指標値

草丈の推移
(県全体)



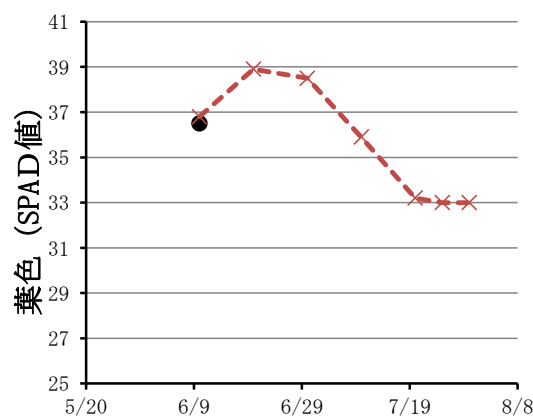
● 本年値 -x- 指標値

茎数の推移
(県全体)



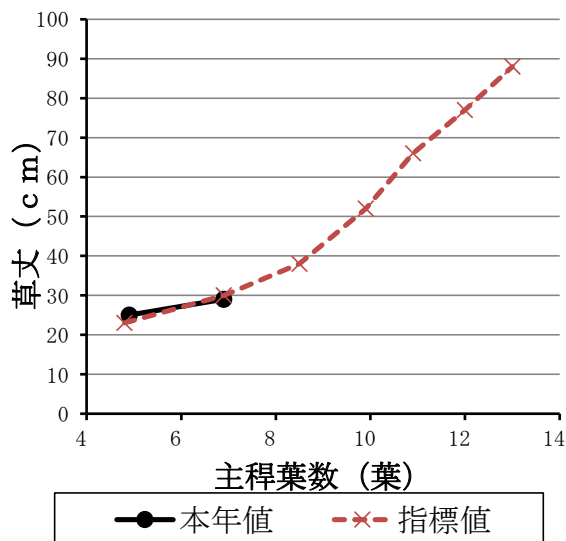
● 本年値 -x- 指標値

葉数の推移
(県全体)

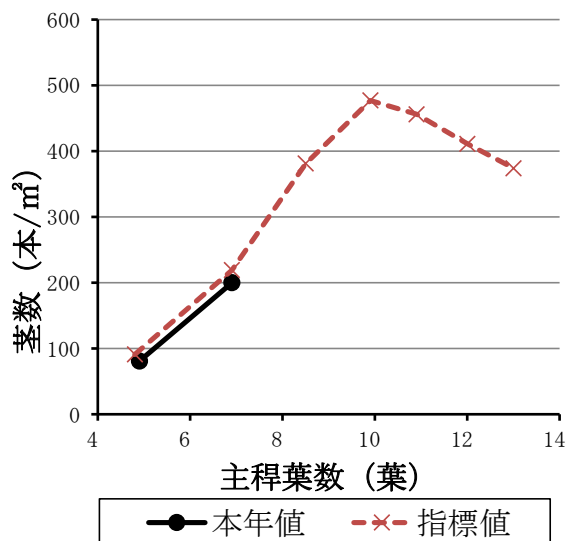


● 本年値 -x- 指標値

葉色の推移
(県全体)



葉数と草丈
(県全体)



葉数と茎数
(県全体)

○ 葉数の進みはやや遅いものの、Ⅱ号及びⅢ号分けつは平年並に発生していることから、ほ場でこまめに茎数を確認し、中干しを遅れずに開始してください。

	田植後日数 (日)	I号 (%)	Ⅱ号 (%)	Ⅲ号 (%)	Ⅳ号 (%)	Ⅱ号-2次 (%)	葉数 (葉)
本年	23	2	25	61	34	2	6.0
平年	26	1	26	76	75	7	6.9

注) 本年は、県内気象感応ほ11か所の調査データの平均値 (田植え5月12日、栽植密度17.3株/m²)

平年は、全県15気象感応ほのH23~R2年(10か年間)の平均値 (田植え5月12日、栽植密度17.0株/m²)



◎中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度とする。
◎ただし、生育量が指標値に比べ大きいほ場では、強めに中干しを行い、茎数の増加を抑える。



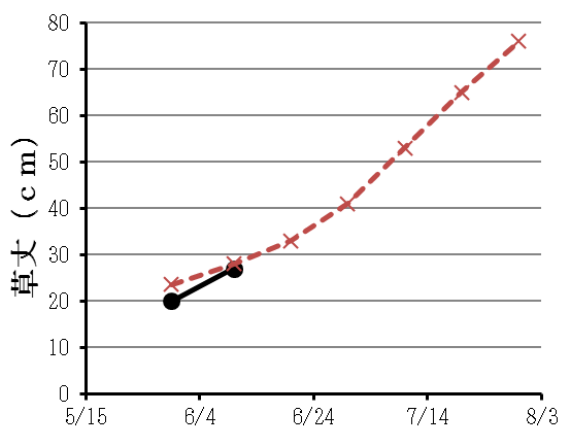
◎乾かしすぎて大ヒビが入ると、根の切断や発根が抑制される。
◎高温が続き、田面に大きなヒビが入ることが想定される場合には、走り水かん水を行う。

新之助

○ 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「薄い」状況です。

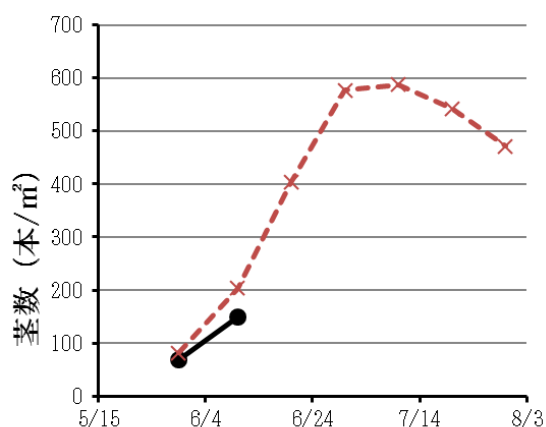
項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	27 cm	28 cm	並	98%
茎数	150 本/m ²	204 本/m ²	少ない	74%
葉数	6.2 葉	6.8 葉	やや遅い	-0.6 葉
葉色 (SPAD 値)	33.1	36.1	薄い	-3.0

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値(田植え5月18日、栽植密度16.0株/m²)



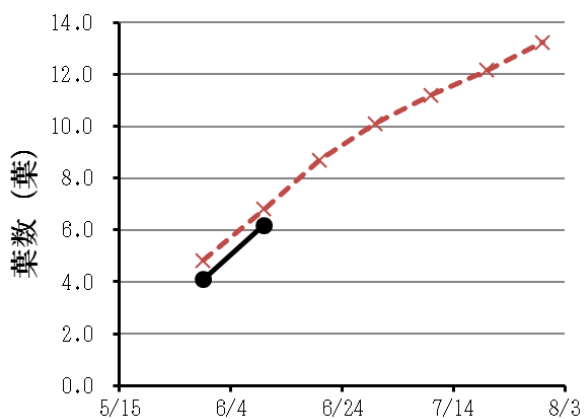
● 本年値 -x- 指標値

草丈の推移
(県全体)



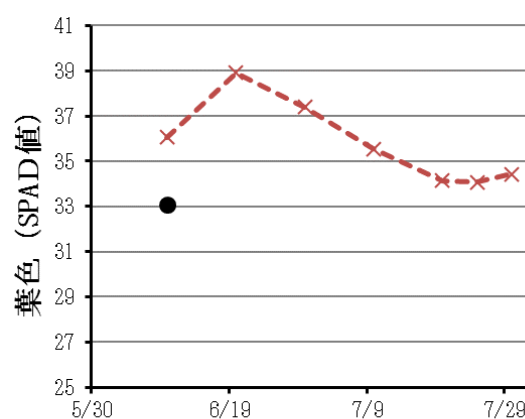
● 本年値 -x- 指標値

茎数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値

葉数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値

葉色の推移
(県全体)

こしいぶき (参考)

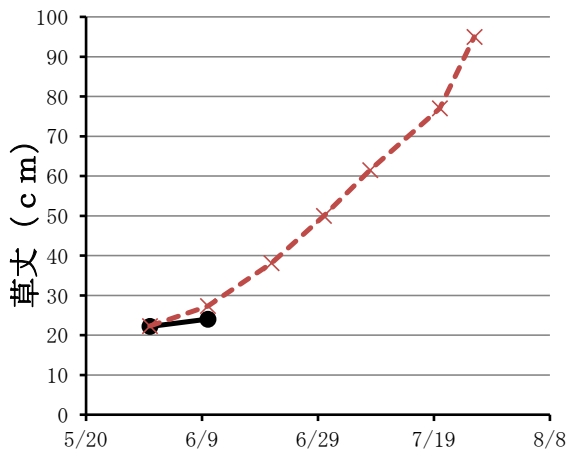
○ 指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「やや淡い」状況です。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	24 cm	27 cm	短い	88%
茎数	237 本/m ²	344 本/m ²	少ない	69%
葉数	7.1 葉	7.7 葉	やや遅い	-0.6 葉
葉色 (SPAD 値)	38.8	40.5	やや淡い	-1.7

注1) 化学肥料栽培 田植え5月10日、栽植密度は20.7株/m²

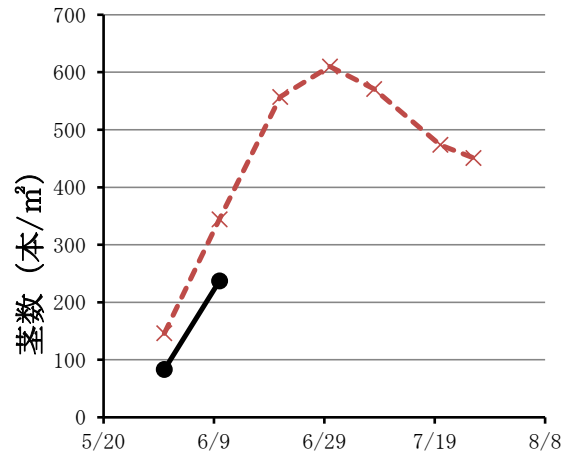
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町(作物研究センター)の生育調査ほデータ



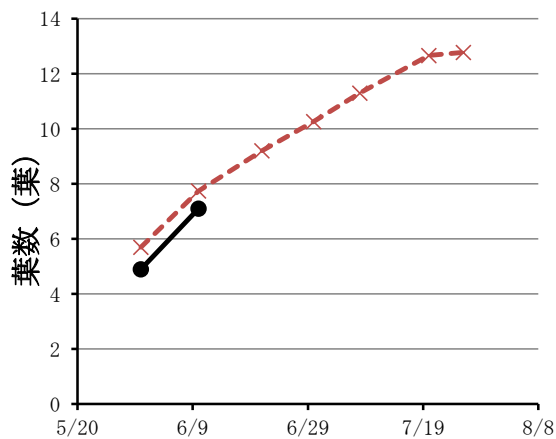
● 本年値 -x- 指標値

草丈の推移



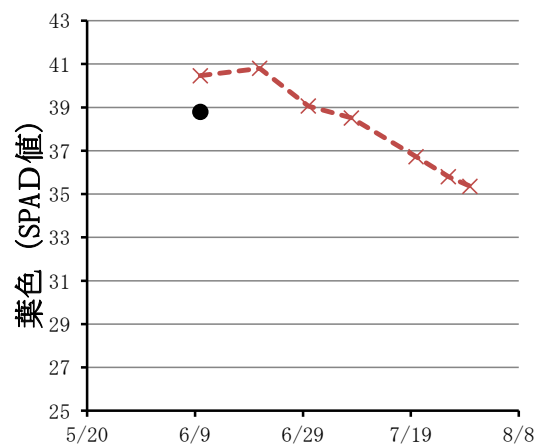
● 本年値 -x- 指標値

茎数の推移



● 本年値 -x- 指標値

葉数の推移

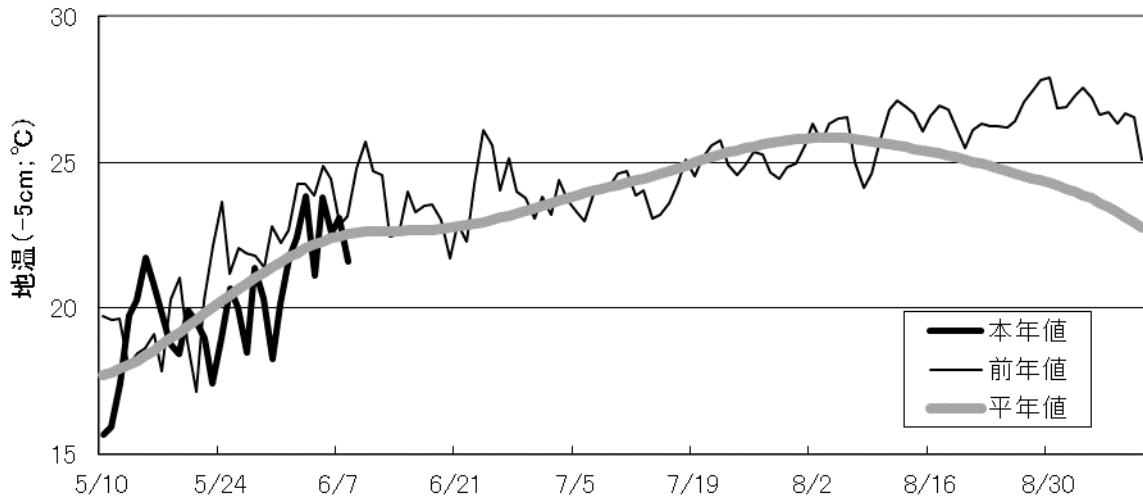


● 本年値 -x- 指標値

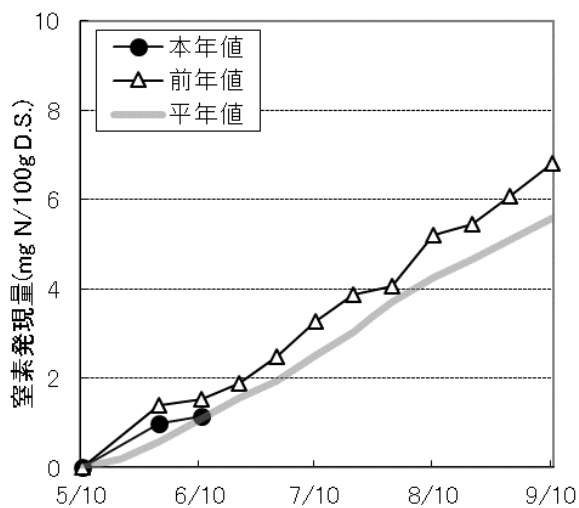
葉色の推移

2 ちりよく 地力窒素の発現状況

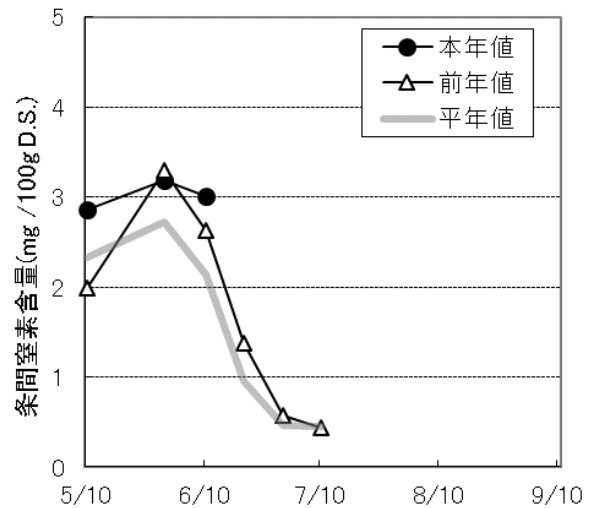
- 5/30～6/8の期間の日平均地温は平年並で、6/8現在の地力窒素の発現量も平年並でした。条間窒素は平年より多く残存しており、生育の遅れにより吸収量が少なかったためと考えられました。



水田地温 (-5 cm) の推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)



地力窒素の発現推移(6月9日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
初期値=0、移植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含有率の推移(6月9日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
移植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a